

総合学術博物館運営委員会 議事要旨

日 時： 平成30年6月11日（月） 13:00～14:10

場 所： 大阪大学会館 2階会議室

出席者： 永田委員長（館長）、尾上（図）、橋爪（社会学創・博）、上田（社会学創・博）、高橋（社会学創・博）、豊田（社会学創・博）、宮久保（社会学創・博）、河森（人）、竹中（法）、水谷（理）、祖父江（医）、村上（歯）、橋本（薬）、中谷（工）、杉山（基）、山下（言）、河村（国）、倉橋（生）、松尾（高）、藪田（微）、長尾（産）、疋田（蛋）、塚本（接）、藤岡（レ）、阿部（サ）、佐藤（全）

欠席者： 伊東（文）、ドンゼ（経）、前田（情）、石田（社）

陪席者： 横田（社会学創・博）、伊藤（博）、徳野、林田、垣渕、小塩、花岡、古小路（事務（社会学創課））

議事に先立ち、永田委員長から全委員30名のうち26名の出席により、運営委員会が成立した旨開催の挨拶があった。また、出席委員からの自己紹介が行われた。

【協議事項】

1. 平成29年度総合学術博物館決算及び平成30年度総合学術博物館

予算（案）について

（資料1）

永田委員長から、配付資料に基づき、平成29年度決算及び平成30年度予算（案）について説明があり、原案のとおり承認した。

2. 次年度以降の展覧会企画について

（資料2）

橋爪委員から、配付資料に基づき、次年度以降に実施を予定している展覧会の企画案について説明があり、原案のとおり承認した。

次いで、永田委員長、橋爪委員から、各部局においても科研等を含むアウトリーチ活動の一環として待兼山修学館の展示スペース（3階多目的ルーム）を活用したい等の希望があれば、相談いただきたい旨、発言があった。

3. その他

特になし

【報告事項】

1. 平成29年度総合学術博物館（待兼山修学館）入館者数について（資料3）

永田委員長から、配付資料に基づき、平成29年度入館者数について報告があった。
なお、入館者数には特別展・企画展の入館者数、団体見学での入館者数も含まれている旨、補足があった。
2. 平成29年度総合学術博物館計画達成状況について（資料4）

永田委員長から、配付資料に基づき、総合学術博物館の平成29年度計画達成状況について報告があり、併せて平成28年度の評価結果について報告があった。
3. 平成30年度の兼任教員について（資料5）

永田委員長から、配付資料に基づき、平成30年度の総合学術博物館兼任教員について報告があった。
4. 平成30年度の展覧会企画について（資料6）

橋爪委員から、配付資料に基づき、春の特別展「四大文明の源流を求めて 洋画家 中村貞夫 特別展」について報告があり、好評につき待兼山修学館での展示を7月21日まで延長することとしたので、各部局においても教職員・学生に周知していただき多くの方に観覧していただきたい旨の依頼があった。
次いで、橋爪委員から秋の特別展「人と鉱物－歴史からみる石の世界－」について説明があった。
5. 平成30年度のその他企画について（資料7）

上田委員から、今年度も「体験！こどもミュージアム@大阪大学」、「豊中市立小中学校理科展サテライト展示&発表会」、「サイエンスカフェ」等を実施する予定であること、株式会社新興出版社啓林館との共催事業及び昨年度から導入した「ミュージアム・アシスタント」の活動の様子、豊田委員から、「体験！こどもミュージアム@大阪大学」の詳細、永田委員長から、文化庁から採択された、大学における文化芸術推進事業「記憶の劇場Ⅲ」の概要及び新任教員研修プログラムとして総合学術博物館から今年度コンテンツを提供する予定としていることについて、それぞれ報告があった。
6. その他
永田委員長から、共創機構渉外本部において、現在クラウドファンディングに係る検討が進んでおり、総合学術博物館からは2件（マチカネワニ化石のレプリカ作成／

英語・韓国語・中国語の音声ガイダンスシステム作成)のコンテンツを提案したこと、本学が加盟している大学博物館等協議会及び博物科学会が6月21日、22日に香川大学幸町キャンパスで開催されるので、館長及び教員数名が参加し研究発表及びポスター展示を行う予定であることについて、それぞれ報告があった。

以 上